

令和2年度 第1回 歯科口腔保健推進検討部会 議事録	
日 時	令和2年9月14日（月）19時～21時
開催場所	市庁舎18階みなと1・2・3会議室
出席者等	歯科口腔保健推進検討部会委員 12名（別添名簿のとおり） （欠席者：瀬戸委員、塩山委員）
開催形態	公開（傍聴者0人）
開会	<ul style="list-style-type: none"> 事務局より会議の成立確認、開会の案内 委員交代の報告（長谷川委員）
開会挨拶	<p>（嘉代 健康福祉局健康安全部健康推進担当部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本日の議題は2点。一点目は健康横浜 2 1 推進会議（書面開催）に報告し、委員から意見のあった内容について報告する。 もう一点は、昨年度検討部会でも議論した骨子(案)をもとに、歯科口腔保健計画に向けた取組としてまとめた内容について、ご意見をいただきたい。
事務局説明	<p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで、まず2年間の計画を策定し、その後、令和5年度から本格的な計画を策定するという説明をしてきたところであるが、今回、「令和3年度から令和4年度の間」の取組」とさせていただいた。計画と位置付ける場合には、指標を設定し、それに基づきPDCAを回していくということとなるが、2年という短期間で運用することは現実的ではないことから、令和5年度以降の計画を策定しながら、当面2年間はその計画のもととなる取組について運用するという整理をした。これまでの骨子(案)や委員からのご意見については、計画や取組に反映している。
議題1	<p>議題（1）令和2年度第1回健康横浜 2 1 推進会議の議事について</p> <p>＜【資料1】令和2年度第1回健康横浜 2 1 推進会議 各委員からの意見＞</p> <p>事務局から資料1について説明</p>
質問等	なし
議題2	<p>議題（2）歯科口腔保健 令和3年度から4年度の間（案）について</p> <p>＜【資料2】歯科口腔保健 令和3年度から4年度の間（案）について＞</p> <p>事務局から資料2について説明</p>
質問・意見交換	<p>乳幼児期の施策について</p> <p>（山本部会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「3歳児でむし歯のない者の割合」の指標で、3歳児健診におけるむし歯の有病者率は減少傾向にあるとのことだが、1歳6か月児健診や3歳児健診等は母子保健法で受診が義務付けられているが、はたして100%受診されているのか。受診されていないならば、その群の歯の状態が良くない可能性も考えられる。指標には受診率の記載を加えてもよいのではないかと。

(佐藤委員)

- ・コラムの「フッ素」という表記について、正式名称は「フッ化物」である。ただし、専門家や知識のある方は「フッ化物」で理解できるが、一般的には「フッ素」が浸透している。市民の読みやすさを優先し、「フッ素」をメインに、文末に用語の解説等を加えるのはどうか。

(堀元委員)

- ・むし歯のない者の割合は少なくなっているが、区によって地域差があることは課題である。また、乳幼児期については食育が重要なポイントだが、例えば離乳食の困りごと等について、栄養士会のほうで参考となる指標やデータがあれば提案していただけたらと思うがどうか。

(長谷川委員)

- ・福祉保健センターや離乳食教室等で栄養士が関わっており、栄養士会でも子育て支援で関わりがあるが、小児の噛む機能や食事の形態、母親の調理技術などにより離乳食の進め方がわからないといった困りごとの相談を受けることは多い。

(藤田委員)

- ・乳幼児期における取組の方向性や関係者の役割では、子どもに対して保護者がどのように関わるかについて書かれている。それは当然のことではあるが、指標「3歳児でむし歯のない者の割合」の目標値90%以上を維持していくにあたり、保護者向けの啓発だけでなく、子ども自身への啓発も必要と考える。例えば、保護者が適切に子どもに関われずにむし歯になるケースもあると想定すると、乳幼児期でも子ども自身が自分で口の中を守るという意識をもつようにする取組も大事。実際、歯科健診のあとに歯科衛生士が絵本や紙芝居などを使って子どもに話をしているところもある。早い段階から歯科口腔ケアへの興味関心を引き、自分で行動できるようになると、将来的に健康格差の縮小にもつながると思う。

学齢期の施策について

(藤田委員)

- ・保育園・幼稚園と小学校の連携については、保育園・幼稚園から小学校に上がる際、児童保育要録を学校に提出することになっている。保育園では年に2回行われる歯科健診の結果も記録している。歯科健診に限らず、健康に関する情報を連携することができればいいと思う。
- ・私立の学校は独自で健診等をやっていると思うが、情報やデータを得ることはできないのか。

(佐藤委員)

- ・私立学校の場合、学校によって歯科健診の仕方やデータの取り方が違うことがあり、統計からデータが抜けてしまうのが課題である。公立学校の場合、学校歯科医は非常勤の職員でもあるので、1年間を通して学校と関わり、子どもたちの歯の状況を診ながら、歯科に関する相談を受けたり健康に関する授業を行っているところであるが、私立はそれぞれの学校に任されている状況である。学校で独自のソフトを用いてデータを集計したり、健診後その日のうちに結果をメールで保護者に送信することもあると聞いている。また、個人の感覚だが、学校歯科保健に関する知識に困っていないという意見をいただくこともあり、なかなか協働の提案も難しい。そういったことを把握するために現在コンタクトをとっているところではある。

(渡辺委員)

- ・学齢期の指標「12歳児の1人平均むし歯数」は0.57本となっており、2人に1人はむし歯を持っているように見えてしまう。他の指標は全て%単位だが、この指標のみ単位が本数のため、多いのか少ないのかの比較が難しい。むし歯を有する人数は少ないがその1人がたくさんむし歯を持っている可能性もあるし、皆が均等に持っている可能性も考えられる。この指標についても、他の指標と同じように有病者率についてのデータもあればわかりやすいと思う。

(鈴木委員)

- ・1人平均むし歯数の指標については国の指標に合わせた統計となっており、【むし歯の数÷受診者数】で計算している。学校歯科医の熱心な取組や、横浜市独自の巡回保健指導などにより年々減少しており、横浜市の数値は国よりも低いため、成果が出ているといえる。
- ・私立学校のデータについて、定期健診は学校保健安全法施行規則に基づきすべての学校で全国共通だが、その最低限のこと以外は学校により取り組み方が様々で、私立学校はそれぞれの教育方針があるのでひとまとめにできない。また、公立学校には必ず養護教諭がいるが、私立学校（特に高校では設置義務もない）には養護教諭がない場合や非常勤の看護師で対応していることもあるため、取組状況が異なる。
- ・私立学校に対しての指導等は県の教育委員会が行うこととなっているので、横浜市として統括している状況ではない。

成人期（妊娠期含む）の施策について

（佐藤委員）

- ・ 具体的な取組の「健康経営を通じた口腔ケアの推進」（19 ページ）について、企業向けに講座を行うなどと書かれているが、実際にどんなことがなされているのか。また、本会としての関わり方や、今後の展望などはあるか。

（事務局）

- ・ 健康経営は現在 360 社が認証を受けている。認証にあたっては、従業員に対する歯科健診の実施や、口腔ケアの推奨を評価項目に設定している。講座などについてはこれから検討する予定。

高齢期の施策について

（守分委員）

- ・ 具体的な取組の「歯科健康診査」（26 ページ）のなかで、「～前年度に 75 歳となった被保険者を対象として、歯科健康診査を実施」との記載があるが、後期高齢者になったその 1 年のみを対象としているのか。高齢者で、むし歯はないが噛み切れない人を見かけることが多くなった。本人はむし歯がないから健診には行く必要がないと話している。むし歯がなくても定期的に健診に行けるような仕組みがあると、オーラルフレイルの状況も改善するのではないか。

（佐藤 健康福祉局健康安全部担当部長）

- ・ 後期高齢者医療制度での歯科健診は 75 歳の年のみだが、歯周病検診は 40 歳から 70 歳まで 10 歳刻みで実施している。日頃から管理していただけるかかかりつけ医をもつよう、普及啓発を進めたいと考えている。

要介護高齢者の施策について

（佐藤委員）

- ・ 具体的な取組の「訪問栄養指導事業」（29 ページ）について、実施件数はどうか。

（長谷川委員）

- ・ 栄養ケアステーションにて、在宅の栄養指導を居宅療養支援の範囲内で行っているが、件数はあまり多くない。少しずつ認知が広がっている段階で、栄養士会でも広報活動を行っている。

(堀元委員)

- ・ 具体的な取組には行政以外の取組の内容も入れるのはどうか。指標は歯科健診の実施率となっているが、ほかにも各団体の取組や課題も入れてはどうか。

障害児及び障害者の施策について

(清水委員)

- ・ 現在、障害者施設では、新型コロナウイルス感染症の影響により外出がしにくくなっており、医療機関への通院もしにくい状況である。過去の検査結果に基づいた薬のみの処方が長期間続いている状況。
- ・ 障害者団体への啓発が大事。歯科医師会において初期の口腔ケアを担ってもらっても、障害者歯科は高次医療と考える方もおり、一次医療から二次医療に紹介するのはスムーズにいくが、その逆（高次医療から一次医療（初期口腔ケア））に戻すのは患者の同意が得づらい。（適切な歯科医療機関へのかかり方や口腔ケアに関して）ぜひ障害者団体への啓発に力を入れてほしい。関係者の役割の部分に加えてほしい。

(長谷川委員)

- ・ 障害の特性によっては、甘いものをよく食べるなど食生活の乱れがみられ、口腔の状態に課題を抱える方もいる。また、中途障害の方は、これから社会復帰をするにあたり、例えば麻痺などに対する口腔ケアの充実などを図れるとよい。

(清水委員)

- ・ 障害児・者への歯科治療の際、笑気吸入鎮静法を使う歯科医院の数は多いのか。

(堀元委員)

- ・ 笑気吸入鎮静法は鼻からの吸入だが、急性期で痛みがあれば点滴などの方法もある。ただし、患者と信頼関係を築き、リラックスできる環境を整えるなどしてトレーニングを積み、吸入の必要はなくなる。一般的にあまり使用はしていないと思うが、担当の歯科医師のやり方によるところが大きいのではないか。

(石黒委員)

- ・ 歯科衛生士のほうでも患者とコミュニケーションを図り、慣れてもらうような工夫はしている。ただし、大学病院や障害者歯科を持つ歯科保健医療センター等での治療となると全身麻酔やレストレイナー（身体抑制用のネット）の使用はある。

(堀元委員)

- ・ 歯科医師会では障害者への歯科医療についての調査を行っている。そのようなデータも本取組の参考にできるのではないか。

(事務局)

- ・ 医療局と調整し、検討したい。

災害に備えた対策について

(佐藤委員)

- ・ 市内の防災計画は区によって違うだろうが、例えば、災害時の歯科医療チームの構成の仕方など、災害に備えた対策はもっと細かく書いてもよいと思う。

(事務局)

- ・ 防災計画そのものに関わる内容は、本取組ではなく各区の防災計画に細かく記載することになると思うが、防災計画もまだ十分でないところがある。本取組では市民の備えや災害時の口腔ケアの重要性について伝えることを優先したい。

(堀元委員)

- ・ 「災害」には今回の新型コロナウイルス感染症のような感染症も含まれるのではないか。施設等における歯科に関連する感染症対策についても含められるとよい。

(石黒委員)

- ・ 災害時には食生活が変わり、口腔内の状況が悪化しやすい。また、支援物資として菓子パンやお菓子が多量に入ってきたことにより子どもたちのう蝕（むし歯）が進んだという話も聞いたことがあるので、災害時の口腔ケアについて、こうした観点も盛り込んではどうか。

	<p>関係機関・団体等との適切な情報の共有・発信について</p> <p>(川田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医科と歯科が日頃から密接にやり取りをしてケアを行いたいところだが、市内 18 区のなかでも取組状況が異なっており、活発に推進している区もあれば、なかなか進まない区もある。せつかくシステムがあるので、医師会、歯科医師会で提携を図り進めていきたいところ。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「歯科口腔保健の観点から推進する取組」の「関係機関・団体等との適切な情報の共有・発信」(40 ページ) について、本文中には市民向けの内容も含まれているので、表題には「市民」も含めることとしたい。 <p>(山本部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市は外国人が多く、多言語での発信は横浜市ならではの取組となると思う。ぜひ積極的にやっていただきたい。
<p>閉会挨拶</p>	<p>(佐藤 健康福祉局健康安全部担当部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本取組の中には現行の様々な取組の内容を盛り込んでライフステージごとに記載をしているが、現在の自分のライフステージだけでなくこれから先のことも見通すことができ、市民に理解していただけるような内容としたい。 ・ 新型コロナウイルス感染症の流行は歯科口腔保健にも大きな影響が及んでいる。収束のめどが立たない中、新しい生活様式下での対策など、視点を変えて検討する必要もあると考えている。
<p>閉会</p>	<p>次回会議は 11 月から 12 月頃の開催を予定している。</p>

令和2年度第1回歯科口腔保健推進検討部会(9月14日)における御意見

分野	No.	第1回会議での主な御意見	御意見に対する考え方
乳幼児期	1	・「3歳児でむし歯のない者の割合」の指標で、3歳児健診におけるむし歯の有病者率は減少傾向にあるとのことだが、1歳6か月児健診や3歳児健診等は母子保健法で受診が義務付けられているが、はたして100%受診されているのか。受診されていない場合は、その群の歯の状態が良くない可能性も考えられる。 <u>指標には受診率の記載を加えてもよいのではないか。</u>	本取組の指標に関連する参考値として3歳児歯科健診の受診率について、冊子の資料集に掲載しました。(P65)
乳幼児期	2	・コラムの「フッ素」という表記について、正式名称は「フッ化物」である。ただし、専門家や知識のある方は「フッ化物」で理解できるが、一般的には「フッ素」が浸透している。 <u>市民の読みやすさを優先し、「フッ素」をメインに、文末に用語の解説等を加えるのはどうか。</u>	「フッ素」が「フッ化物」とわかるようコラム内の表記を修正しました。(P16)
乳幼児期	3	・乳幼児期における取組の方向性や関係者の役割では、子どもに対して保護者がどのように関わるかについて書かれている。それは当然のことではあるが、指標「3歳児でむし歯のない者の割合」の目標値90%以上を維持していくにあたり、保護者向けの啓発だけでなく、子ども自身への啓発も必要と考える。例えば、 <u>保護者が適切に子どもに関わらずにむし歯になるケースもあると想定すると、乳幼児期でも子ども自身が自分で口の中を守るという意識をもつようにする取組も大事。実際、歯科健診のあとに歯科衛生士が絵本や紙芝居などを使って子どもに話をしているところもある。早い段階から歯科口腔ケアへの興味関心を引き、自分で行動できるようになると、将来的に健康格差の縮小にもつながると思う。</u>	保育園における集団指導など既存の取組の中で対応してまいります。
学齢期	4	・学齢期の指標「12歳児の1人平均むし歯数」は0.57本となっており、2人に1人はむし歯を持っているように見えてしまう。他の指標は全て%単位だが、この指標のみ単位が本数のため、多いのか少ないのかの比較が難しい。 <u>むし歯を有する人数は少ないがその1人がたくさんむし歯を持っている可能性もあるし、皆が均等に持っている可能性も考えられる。この指標についても、他の指標と同じように有病者率についてのデータもあればわかりやすいと思う。</u>	12歳児のむし歯有病者率について資料集に掲載しました。(P65)
全世代	5	・具体的な取組には行政以外の取組の内容も入れるのはどうか。 <u>各団体の取組や課題も入れてはどうか。</u>	団体の取り組む範囲が広く、今回の取組への反映は困難と考えます。今後、把握する方法を検討していきます。
障害児者	6	・障害者団体への啓発が大事。歯科医師会において初期の口腔ケアを担ってもらっても、障害者歯科は高次医療と考える方もおり、一次医療から二次医療に紹介するのはスムーズにいくが、その逆(高次医療から一次医療(初期口腔ケア))に戻すのは患者の同意が得づらい。 <u>(適切な歯科医療機関へのかかり方や口腔ケアに関して)ぜひ障害者団体への啓発に力を入れてほしい。関係者の役割の部分に加えてほしい。</u>	障害者団体を通じた啓発について<関係者の役割>に記載しました。(P41)

分野	No.	第1回会議での主な御意見	御意見に対する考え方
障害児者	7	・障害の特性によっては、甘いものをよく食べるなど食生活の乱れがみられ、口腔の状態に課題を抱える方もいる。また、中途障害の方は、これから社会復帰をするにあたり、例えば麻痺などに対する口腔ケアの充実などを図れるとよい。	御意見の趣旨は「障害の特性に応じて」という表現に含まれていると考えますが、個別具体的な御意見として今後の参考とさせていただきます。
障害児者	8	・歯科医師会では障害者への歯科医療についての調査を行っている。そのようなデータも本取組の参考にはできないのではないか。	当該調査は一部の患者を対象として実施しているため、本取組への反映は難しいと考えますが、今後の施策の参考とさせていただきます。
災害	9	・「災害」には今回の新型コロナウイルス感染症のような感染症も含まれるのではないかと。施設等における <u>歯科に関連する感染症対策についても含められるとよい。</u>	感染症に関する記述を災害時の口腔ケアのコラムに記載しました。(P47)
災害	10	・ <u>災害時には食生活が変わり、口腔内の状況が悪化しやすい。</u> また、支援物資として菓子パンやお菓子が多量に入ってきたことにより子どもたちのう蝕(むし歯)が増えたという話も聞いたことがあるので、災害時の口腔ケアについて、こうした観点も盛り込んではいかがでしょうか。	災害時の食生活の変化への注意喚起を取組冊子「災害に備えた対策」の本文に記載しました。(P46)
情報発信	11	・横浜市は外国人が多く、 <u>多言語での発信は横浜市ならではの取組となると思う。</u> ぜひ積極的にやっていただきたい。	今後、多言語対応の媒体の作成を検討していきます。

「横浜市歯科口腔保健令和3年度から令和4年度の取組（案）」に対する関係団体からの御意見

番号	団体の属性	取組に対する意見箇所	意見の内容	意見への対応方針	関係課
1	保育・教育関係	乳幼児期	乳幼児健診の機会に歯科保健指導を行う取組は非常に有効な手段であり、保健指導の為に「共通媒体」を作成する事は保健指導の質の向上に役立つ素晴らしい取組である。新型コロナウイルス感染症の流行により例年以上に取組が難しいが、保育園でも可能な範囲で歯科保健向上を目標に日々関わりたい。	ご意見として承ります。	子ども青少年局子ども家庭課 子ども青少年局保育・教育人材課
2	保育・教育関係	乳幼児期(具体的な取組)	保育園における歯科検診が2回になったが、2回分の費用とも運営費から出している。歯科健診の費用を負担してほしい。	公定価格に2回分の費用が含まれております。	子ども青少年局保育・教育人材課
3	福祉施設	乳幼児期 学齢期	乳幼児期及び学齢期における身体的暴力とネグレクトがある場合、口腔内の怪我や不衛生、歯の発生が顕著に表れることがある。 口腔保健の向上と併せて、児童虐待早期発見の契機となりうることについて、取組に加えてほしい。	ご意見ありがとうございます。「養育環境の把握」を行うことを取組の冊子の本文に追加しました。(P10) 歯科検診などが児童虐待の早期発見の契機になりうることについては、児童虐待対策のコラムを掲載しました。(P13)	子ども青少年局子ども家庭課
4	保育・教育関係	学齢期	1人平均むし菌数が国の目標を達成していることについては、各家庭の努力もあってのことだと思う。学校においても健康教育をきちんとやっていくための施策を考えて欲しい。	本市作成の横浜版歯科保健教育資料『学校における歯科保健教育の進め方』に、歯・口の健康づくりの進め方、指導計画、歯科保健教育に必要な資料を掲載しています。今後も横浜市学校保健会と横浜市歯科医師会で行っている歯科衛生士の派遣事業も十分に活用しながら、各校の歯科保健の充実に向けて、歯科保健教育へ取り組んでまいります。	教育委員会事務局健康教育課
5	保育・教育関係	学齢期(関係者の役割)	歯科医療等関係者の役割に、「フッ化物洗口、フッ化物歯面塗布などを実施し～」とあるが、 <u>集団教育や学校現場では子どもの口の中に薬物入ることについて慎重になっている。歯みがき指導や食生活の改善を中心に考えてほしい。</u>	市立学校における歯科保健教育については、本市作成の横浜版歯科保健教育資料『学校における歯科保健教育の進め方』に掲載されている校種別のねらいに基づいた「歯・口の健康に関する内容」「食生活に関する内容」「歯口清掃に関する内容」を推進していきます。今後も横浜市歯科医師会と連携し、歯みがき指導や食生活の改善について検討していきます。	教育委員会事務局健康教育課
6	保育・教育関係	学齢期(関係者の役割)	横浜市は歯科医師会にもご協力いただき、歯科巡回指導をしっかりと行っている。学校歯科医の先生方もとても熱心に関わってくださっている。	横浜市歯科医師会と連携し、引き続き学校の歯科保健を推進していきます。	教育委員会事務局健康教育課
7	福祉施設	成人期	①計画実行により市の医療費がこのくらい削減される見込みであるなどが分かることより意識が高まるのではないかと。 ②定期検診の実効性を高めるために、費用援助等も有効ではないかと感じる。	①歯科口腔保健の推進は医療費の削減を目的とするものではありませんが、医療費への影響については、今後の検討事項とします。 ②現在、歯周病検診は1回500円の自己負担があります。定期健診の費用援助については他都市の状況も把握し、有効性について今後の検討事項とします。	健康福祉局保健事業課
8	地域活動団体	成人期(取組の方向性) 高齢期(取組の方向性)	成人・高齢期以降の取組に重点と書かれている項目があるが、その取組が遅れているという事か。	説明の場で、今後、重点的に進めていく取組として記載している旨説明済みです。	健康福祉局保健事業課
9	福祉施設	成人期 高齢期	介護予防事業として、口腔講座を企画・開催しているが「口腔」への地域高齢者の関心は低いように感じている。健康意識が高い方は参加するが、本当に聞いてもらいたい方々には届かない。 ①地域住民に興味・関心を持ってもらえるような取組の必要性を感じる。 ②高齢者はもちろんだが、早い段階(中年層)から介護予防の普及が必要。 ③健康教室等は企業と連携し、職場で実施されればより効果的な普及が図れるのでは。	①興味・関心を持っていただけるような啓発方法を検討してまいります。 ②③早い段階からの啓発が必要であるため、成人期においては、糖尿病等の疾病の重症化予防や健康経営の取組の中で啓発を行います。	健康福祉局保健事業課 健康福祉局地域包括ケア推進課
10	福祉施設	成人期 高齢期	歯科口腔保健の推進は健康増進、介護予防の観点からも大変重要。昨年度の歯科の受診延べ日数も伸び、医療費も増えている。 ①歯周病と生活習慣病との関連については明らかになっており、成人であれば健診や特定保健指導等の機会を活用し、口腔ケアの重要性を伝えていくことは良いことだと思う。 ②高齢者や要介護者、その支援者への普及啓発に、包括支援センターの職員も地域包括ケアシステムの一環として、支援していきたい。	①ご意見ありがとうございます。引き続き生活習慣病対策などと連携して啓発を進めます。 ②地域包括ケアシステムの取組に係る関係機関・団体など地域資源を活かしたフレイル予防の取組について検討し、地域に応じて、フレイル予防、ロコモ予防、口腔機能の向上、栄養改善、認知症予防、閉じこもり予防等の効果的な普及啓発を地域ケアプラザ等と連携して実施していきます。	健康福祉局保健事業課 健康福祉局地域包括ケア推進課
11	医療関係	高齢期	オーラルフレイルや咀嚼・嚥下機能の低下による誤嚥性肺炎等の予防に関して薬剤師が関わることで、これらの予防や市民への啓発事業にも繋がると思う。 「高齢期」の取組として、薬剤の中には、嚥下機能を低下させてしまう薬剤があること等を理解し、歯科口腔保健に関する正しい知識を持つことを加えてはどうか。	ご意見については、取組冊子の関係者の役割に含まれています。なお、個別具体的な内容についてはご意見として承ります。	健康福祉局保健事業課
12	地域活動団体	高齢期	80代になり自分の歯を失い、歯周病予防の大切さを痛感している。 ①むし菌・歯周病予防の取組では、自己責任のとれる成人期の対策を強化することが必要。 ②成人期の課題にある「予防する取組の担い手となる人材の育成」は具体的にどんな取組か。	①早い段階からの啓発が必要であるため、成人期においては、糖尿病等の疾病の重症化予防や健康経営の取組の中で啓発を行います。 ②保健活動推進員など地域で普及啓発の活動に取り組む団体に研修をおこなうなど地域人材の育成を進めます。	健康福祉局保健事業課
13	医療関係	要介護高齢者	居室の要介護者を訪問する中で、口腔状態のよくない状態の方がいるが、そのような状況をフィードバックして対応できるよう、歯科医師会と連携するマニュアルなどがあると良い。	今後の参考として承ります。	医療局がん・疾病対策課

14	障害関係	高齢期 障害児及び障害者	高齢の障害者には口腔に問題があるものも多い。高齢者は情報を取るのが難しいので、例えば相談を受けてくれるコールセンターの電話番号を載せるなど、高齢者にもわかりやすいPRをしてもらえるとありがたい。	意見の趣旨は取組冊子の取組の方向性(情報発信)に含まれています。(コールセンターについては)今後の参考として承ります。	医療局がん・疾病対策課 健康福祉局障害施策推進課
15	障害関係	障害児及び障害者	障害者の歯の問題はどこに相談すれば良いか。	・お住まいの区役所福祉保健課にご相談をお願いします。(保健事業課) ・横浜市歯科保健医療センターの歯科医療連携室では障害児・者の歯科診療、訪問診療等に関する相談・問い合わせを受け付けています。引き続き周知に努めてまいります。(障害施策推進課)	健康福祉局保健事業課 健康福祉局障害施策推進課 医療局がん・疾病対策課
16	障害関係	障害児及び障害者	障害者を見てくれる医療機関は少ない。障害の特性によって対応できないと断られるケースもあった。	・ご意見の趣旨は取組の冊子、関係者の役割に記載しており、今後の参考として承ります。(障害施策推進課) ・協力医療機関に関連した研修の拡充を横浜市歯科医師会と進めていく中で、ホームページ上で掲載する協力医療機関の情報内容の充実を予定しています。(がん・疾病対策課) ・このような取り組みと連携して情報提供に取り組みます。(保健事業課)	医療局がん・疾病対策課 健康福祉局障害施策推進課
17	障害関係	P.36障害児及び障害者	区役所で協力医療機関の名簿は見せてもらえないか。どんな障害なら受診可能なのかなど、障害特性に応じた対応の可否がわかると探しやすい。2階以上の場所にあると車いすが入れない場合もある。	・意見の趣旨は取組の冊子、取組の方向性に含まれていると認識しており、今後の参考として承ります。(障害施策推進課) ・協力医療機関に関連した研修の拡充を横浜市歯科医師会と進めていく中で、ホームページ上で掲載する協力医療機関の情報内容の充実を予定しています。(がん・疾病対策課) ・このような取り組みと連携して情報提供に取り組みます。(保健事業課)	医療局がん・疾病対策課 健康福祉局障害施策推進課
18	障害関係	障害児及び障害者	どんな障害者施設に往診しているかなど、歯科医師のプロフィールがあれば選ぶ際の目安になると思う。	・意見の趣旨は取組の冊子、取組の方向性に含まれていると認識しており、今後の参考として承ります。(障害施策推進課) ・協力医療機関に関連した研修の拡充を横浜市歯科医師会と進めていく中で、ホームページ上で掲載する協力医療機関の情報内容の充実を予定しています。(がん・疾病対策課) ・このような取り組みと連携して情報提供に取り組みます。(保健事業課)	医療局がん・疾病対策課 健康福祉局障害施策推進課
19	障害関係	要介護高齢者 障害児及び障害者	以前入居していた施設では誤嚥性肺炎で入院を繰り返していた父が、口腔ケアに力を入れている別の老人ホームに入居してから、気になっていた口臭も気にならなくなり、1年半の入居期間中に誤嚥性肺炎での入院もなかった。その経験からも歯科口腔保健がとても大事だと思う。	・ご意見ありがとうございます。(高齢施設課) ・意見の趣旨は賛同と捉えられることから、ご意見として承ります。(障害施策推進課) ・施設での口腔ケアの重要性について周知に努めます。(保健事業課)	健康福祉局障害施策推進課 健康福祉局介護事業指導課 健康福祉局高齢施設課
20	障害関係	障害児及び障害者	精神障害の特性のひとつのこだわりがあり、少しのことで歯科医院に頻回に受診している。親としては費用面が大変なので、公的補助も考えて欲しい。	医療費助成の拡大については、厳しい財政状況の中、現時点でただちに実施することは困難な状況ですが、今後の取組の参考とさせていただきます。	健康福祉局医療援助課
21	障害関係	障害児及び障害者	障害がある場合、歯科医院に通院出来ないことも多いが、訪問歯科診療や訪問口腔衛生指導等の制度がある事を知らない。区でも聞かなければ教えてもらえない。このような情報が必要な人にすぐに伝わるような仕組みを考えて欲しい。	・ご意見の趣旨は取組の冊子、取組の方向性に含まれていると認識しており、今後の参考として承ります。(障害施策推進課) ・ご利用いただける行政サービス情報が必要な方にきちんと届くよう周知に努めます。(保健事業課)	健康福祉局障害施策推進課 健康福祉局保健事業課
22	障害関係	障害児及び障害者	200を超える歯科医療機関が1次医療機関として協力しているが、18区でどこが協力機関かホームページにアクセスしないと見られない状況。車いすが入れるかどうか、笑気ガスを使っているかどうかなどもわかるようにして欲しい。	・ご意見の趣旨は取組の冊子、取組の方向性に含まれていると認識しており、今後の参考として承ります。(障害施策推進課) ・現在、横浜市歯科医師会がホームページ上で掲載するために一次医療機関である協力医療機関の情報を整理しています。その内容には、どのような診療が対応可能か等の情報を掲載する予定としています。(がん・疾病対策課) ・このような取り組みと連携して情報提供に取り組みます。(保健事業課)	医療局がん・疾病対策課 健康福祉局障害施策推進課
23	障害関係	障害児及び障害者	胃ろうの子の親の中には歯みがきに対する意識が低い方もいる。歯みがきの大切さを消化器系の医師の先生にもぜひ伝えてもらいたい。	ご意見の趣旨は取組の冊子、取組の方向性に含まれていると認識しており、今後の参考として承ります。	健康福祉局障害施策推進課
24	障害関係	障害児及び障害者	精神障害者の中には服薬の影響で唾液の分泌が悪く、意欲の低下や体調悪化のために口腔ケアが十分に行えずに、むし歯のある方が多くいる。症状により緊張しやすいうえ、障害年金のみで生活している方も多い。 ①治療費の経済的負担も大きく、治療から遠ざかる一因にもなっていると考える。 ②区で行われている生活教室など、身近な所で検診が受けられるのは良い。 ③社会的資源につながらず、家庭で過ごす精神障害者も多く、訪問診療等が増えることを願う。 これからも障害者へのきめ細やかな口腔衛生サービスを提供して欲しい。	①医療費助成の拡大については、厳しい財政状況の中、現時点でただちに実施することは困難な状況ですが、今後の取組の参考とさせていただきます。(医療援助課) ②ご意見ありがとうございます。引き続き効果的な歯科教室の開催に努めてまいります。(保健事業課) ③一次医療機関である協力医療機関の体制を充実させることで、身近なところで安心して受診ができる環境を整備してまいります。(がん・疾病対策課)	医療局がん・疾病対策課 健康福祉局医療援助課 健康福祉局障害施策推進課
25	障害関係	障害児及び障害者	総合失調症の息子は、人に嫌われるという妄想があり、普段は歯科医に行ったことがなかった。病状からか、歯みがきもあまりしていなかった。先日急に歯の痛みを訴え、通院することになったが、歯科医師の先生や受付の方に、総合失調症の事を話したところ、理解していただき、上手く治療していただいた。歯科医の協力はとても助かった。	意見の趣旨は賛同と捉えられることから、ご意見として承ります。	医療局がん・疾病対策課 健康福祉局障害施策推進課
26	地域活動団体	P.1策定にあたって(位置づけ)	「健康横浜21」の周知不足を感じる。	説明会場での質問。健康横浜21の内容についてその場で説明しました。	健康福祉局保健事業課
27	障害関係	P.1策定に当たって(位置づけ)	「健康横浜21」というのはどのような計画か。	説明会場での質問。健康横浜21の内容についてその場で説明しました。	健康福祉局保健事業課
28	障害関係	P.8関係者の役割	団体として会員向けに歯科に関する研修会を開催したいと希望があったらどこに相談したらよいか。	お住まいの区役所福祉保健課健康づくり係(歯科衛生士)または健康福祉局保健事業課歯科保健担当にご相談をお願いします。	健康福祉局保健事業課

29	福祉施設	P.43歯科口腔保健の観点から推進する取組	全体的に乳幼児から高齢者まで幅広くテーマをカバーしていて、コラムでは災害時の口腔ケアなど新しいテーマを取り上げていてとてもよく取りまとめられているが、 <u>口腔がんの記載が少ない</u> 。稀少がんゆえか、喫煙による影響のところに記載されているだけだが、 <u>必ずしも喫煙者だけの問題ではない</u> 。	口腔がんの原因はいろいろありますが、まずは、原因として代表的な、喫煙による影響を啓発してまいります。	医療局がん・疾病対策課 健康福祉局保健事業課
30	地域活動団体	P.45歯科口腔保健の観点から推進する取組	<u>災害時用の市の備蓄物品にマウスウォッシュの追加も検討してほしい</u> 。	・災害時の市の備蓄は必要最低限の物資となります。まずは、ご自身の非常持ち出しバッグなどに、歯ブラシとともにご用意いただくことをおすすめします。	総務局地域防災課 健康福祉局保健事業課
31	医療関係	P.42歯科口腔保健の観点から推進する取組	歯周病を放置しておく、取組の目的である生涯、自分の歯で生活することを達成することが難しくなってしまう。歯周病の原因となる疾患で薬局を利用している市民は多いと考える。薬局薬剤師と歯科医療機関が連携することにより、 <u>歯科受診率を高め、適切な口腔ケアを推進する</u> 。「 <u>歯周病の原因となる疾患で薬局を利用している市民に対して歯科受診勧奨を行い、歯周病を未然に防ぐ。または早期治療に繋げる</u> 。」ことを歯科口腔保健の観点から推進する取組に加えてみてはどうか。	・歯周病と全身疾患との関係について、市民及び医療従事者に向けて啓発していくとともに、団体同士の協力関係が進むよう調整します。(がん・疾病対策課) ・関係課とともに連携して取り組みます。(保健事業課)	医療局がん・疾病対策課 健康福祉局保健事業課
32	福祉施設	概要版	<u>障害児・者のカテゴリーについて、別枠にするのではなく、乳幼児期、学齢期等それぞれのライフステージ毎に入れた方が良い</u> 。	ライフステージ、対象像のカテゴリーの表記について修正しました。	健康福祉局保健事業課 健康福祉局障害施策推進課
33	障害関係	歯科口腔保健の推進	歯医者さんの歴史を知れる施設が関内駅の近くにあるが、 <u>横浜市は歯科医療発祥の地</u> ということを知って勉強になった。そうしたことをもっとPRしても良いのではないかと思った。	歯科医療発祥の地についてコラムとして掲載しました。(P48)	健康福祉局保健事業課
34	障害関係	歯科口腔保健の推進	<u>歯周病が認知症の原因になる等、好奇心から読みたくなるような内容を入れた方が良いのでは</u> 。	歯周病と認知症の直接的な関係については現時点では、不明なことが多いため、今回は取組の冊子には記載しませんが、既に因果関係が明らかになっている糖尿病と歯周病の関係など、歯周病に関連する疾病についてコラムに記載しました。(P43)	健康福祉局保健事業課
35	障害関係	歯科口腔保健の推進	<u>歯科が全身の健康とどのように関わっているか、全体とのつながりが見えると良い</u> 。	歯科と全身の健康のつながりについて取組の冊子で紹介いたします。	健康福祉局保健事業課
36	地域活動団体	歯科口腔保健の推進	当団体では年1回、区役所高齢支援課の協力のもと、健康保健講座を開催しており、口腔保健も取り上げている。 <u>今後も積極的に取り組んでいく</u> 。	ご意見ありがとうございます。引き続き歯科口腔保健の推進に御理解と御協力をお願いします。	健康福祉局保健事業課
37	地域活動団体	歯科口腔保健の推進	口腔の健康に食育という考えを取り入れている、 <u>ライフステージ毎の問題点が書かれまとめられているのが素晴らしいと感じた</u> 。今後、地域での理解を進めるために講座等を開催していく。	ご意見ありがとうございます。引き続き歯科口腔保健の推進に御理解と御協力をお願いいたします。	健康福祉局保健事業課
38	地域活動団体	歯科口腔保健の推進	・横浜市歯科口腔保健令和3年度から令和4年度の取組案を読み賛同できた。 ・毎年、歯科衛生士による講話を聞き、オーラルフレイル、口の健口体操、正しい歯の磨き方等、知識を得ることができた。 ・コロナ禍にあっても生活習慣病予防の為の「健康づくり」の啓発活動を実践することができた。 <u>甘味食品の食習慣の改善は個々に応じて、地域や家庭において違いがあり、むずかしい面もある</u> 。	ご意見ありがとうございます。引き続き、効果的な周知啓発に努めてまいります。	健康福祉局保健事業課
39	地域活動団体	歯科口腔保健の推進	・引越して「かかりつけ歯科医」が見つからないまま10年が過ぎてしまい、市によって歯科医の対応が違い、困っている話を聞く。 ・ <u>歯周病検診も40歳以上無料で受診できるようになれば、かかりつけ医も見つけられるような気がする</u> 。	歯周病検診の無料化がかかりつけ医を持つことに効果があるかについては、他都市の状況も把握し、有効性について今後の検討事項とします。	健康福祉局保健事業課
40	障害関係	歯科口腔保健の推進	昨年から歯科に通い始め、1年くらい通ってほとんど治療は終わり、現在は歯磨き指導をうけている。 <u>その結果、血糖値も下がり、「血液検査の結果がとてもいいですね」と言われた</u> 。 歯の健康が体にいかに大切かを身をもって体験した。コロナの時代健康が何より、しっかり栄養をとり、「歯の健康」をいつも心掛けていきたい。	ご意見ありがとうございます。皆様の体験談なども参考にさせていただき、周知啓発に努めます。	健康福祉局保健事業課